



## 合唱を愛するみなさまへ

全日本合唱連盟理事長 岸 信介 (4月10日)  
新型コロナウイルスの感染が広がっています。4月8日には全国7都府県に緊急事態宣言が発令されました。

全日本合唱連盟では、これまでも国の指針をもとに、全国の合唱団および団員のみなさまに対し「活動地域の感染状況をふまえ、感染予防に十分配慮し、練習の一時見合わせを含め活動について慎重に判断してください」とお願いをしてまいりました。

しかし残念ながら感染拡大の勢いはやまず、現状では終息の見込みは立っておりません。また、どれほど気をつけて行なったとしても「人が集まって声を合わせる」合唱活動そのものが感染を引き起こしてしまう可能性は否定できません。

合唱を愛するみなさまにはとてつらい決断になりますが、当面の間、合唱団の練習を取り止めていただくようお願いいたします。誰もが安心して合唱を楽しめる日が一日でも早く訪れるように、今は自粛につとめ、それぞれがご自宅でできる活動に専念してください。

### ◆練習再開のときには笑って会おう◆

匿名希望

活動休止状態が長引く中、先生方へ休団補償を検討しておりました。全団員から快く賛成、承認をいただき微々たる額ですが出せる事になりました。

団は休止中ですが、時々団員さんへ連絡を取り、練習再開時には笑って再会出来る様に自粛生活頑張ろうねと励ましも。ウチの団は他団を幾つも掛け持ちされている方が集まっているのですが、全ての団の活動休止で、生き甲斐を失っているご年輩方(我慢が苦手)もいらっしやる為何とか踏ん張っていただきたい。

これまで以上に良い雰囲気楽しく活動出来るよう、歌えなくてもやれる事をして再開準備をしています。他団で団長をされている団員に、先生へ休団補償考えているか聞いて♪

みたところ、うちでは団費に余裕が無いから練習再開したら何かご馳走する(団長自腹)と仰っていました。なかなか難しいですね。



## 合唱団もテレワークを

男声合唱団コール・グランツ

土田耕太郎

まさか、の新型コロナウイルスでの緊急事態。収束に向けて密閉空間、密集、密接の「3密」である食事会、スポーツジム、映画、コンサートなど次々と自粛です。そして合唱もその「3密」そのもの。逆にこんな時だからこそ知恵を出し合い、実力を高められないか。我がグランツの加藤団長はその思いでこの新聞を立ち上げたのでしょ。

現代はネットがありますから、出来ることはあるはず。私は、過去の演奏を聴き直してみてもどうかと思っています。合唱祭などの本番のあとは会場録音を聴くことができますが、ふつうは1~2回聴いてそのままでしょう。たいがいは欠点ばかり目立ち、あまり聴きたくない演奏。でも直視したくなかった自らの合唱団の課題・欠点に向き合うチャンスだと思います。もちろんYoutubeで模範的な演奏を聴くこともできます。

会社の仕事もこのコロナでテレワークが進んでいますが、私の元の職場も4月からテレワークでなんとかやっているとのこと。

合唱はテレワークでは無理だと思いますが、情報交換や個人練習はできるはず。「ネットの活用」合唱団もこれでいきましょう。

全日本合唱連盟では活動自粛を促す異例のメッセージを発出しました。この背景には政府の新型コロナウイルス対策・緊急事態宣言の発令を受けてということもありますが、実際に岐阜の合唱団でクラスターが発生してしまったことも踏まえての危機感の表れと思います。

たとえ緊急事態宣言対象地域に指定されていなくても、とにかく目に見えないウイルス相手ですからしばらくは不要不急の外出を自粛すべきです。